



# きらめけ! 有年っ子

赤穂市立有年小学校  
赤穂市西有年2853番地  
TEL 0791-49-2081  
発行者 西村 博子

## 阪神・淡路大震災から30年～忘れない、語り継ぐ～

今年も、1月17日を迎えました。  
阪神・淡路大震災から30年目を迎え、新聞やテレビでも震災を取り上げた内容が多く伝えられています。兵庫に暮らす私たちには、忘れてはならない、そして語り継いでいかねばならない大切な日です。有年小学校では、毎年「ひょうご安全の日」でもある1月17日に、「防災参観日」を実施しています。

保護者や地域の方にもご参加いただき、防災や減災、いざというときに役立つ手立てなどを体験的に学んでいます。今年も赤穂防災士の会会長の金井貴子さんを講師にお招きして、金井さんが能登・石川でボランティア活動をされた時のお話を伺ったり、段ボールチェアをつくらせたりして防災学習を行いました。子どもたちはお話を聞くときは真剣に、段ボールチェアを作るときは試行錯誤しながら意欲的に体験を行いました。

自然災害は、いつ、どこで、どのように起こるかわかりません。だからこそ、普段からの備えが大事になります。ご家庭、地域でも、改めて防災、減災、備え等について考えて行動に移す機会にさせていただけると嬉しいです。



### 《児童の感想》

- ぼくが生まれていないうちに、大きいじしんがいろんなところでおきたことがわかりました。ダンボールのいすは、ガムテープなどをつかっていないのに、なぜが同じようなのかふしぎに思いました。
  - のと半島じしんでは、さいがいかんれん死が多くて、つなみやじしんにそなえておきたいと思いました。
  - 南海トラフ地しんも30年以内に80%の確立で起こることがわかったので、そなえるのをがんばりたいです。
  - 段ボールでいすを作って、身近にあるもので地震の時に役立つ物を作ることがわかりました。
  - 今日の防災学習で、地震の怖さが改めてわかりました。
- ### 《保護者・地域の方の感想》
- 今日教えていただいたことが少しでも実践できるようにいろいろなシミュレーションが大事だと思いました。
  - 自然災害はいつ起こるかわからないので、しっかりと事前に避難の準備をしておこうと思いました。
  - いざというときに役立つように、普段から防災意識を高めようと思いました。

# 小中連携・幼小連携すすめています！

## 中学校での体験授業・授業参観入学

1月23日（木）に、6年生は有年中学校での体験授業と授業参観に参加しました。体験授業では、原小学校の友だちと一緒に中学校の先生と「家庭科」の学習を体験しました。いつもの教室とは違った雰囲気、少し緊張していたようにも見えますが、先生の話のしっかりと聞いて、真剣なまなざしで授業に臨む姿に、「もうすぐ中学生！」という意気込みも感じられました。小学校と中学校では、このような体験や交流を積極的に行い、小中学校の教員の児童理解と円滑な進学移行をめざしています。



## GMのあとは、一緒に学習タイム

小学校と幼稚園も積極的な連携を進めています。小学校生活科でのおもちゃづくりの交流や幼稚園のごっこ遊びへの参加、また、3学期は、GM（業間マラソン）の後に一緒に学習を行う時間を設けています。

幼稚園のみんなは、小学生のお兄さん、お姉さんと一緒に元気に運動場を走り、その後、1年生と教室で交流します。1年生の子どもたちもやさしくお世話して、笑顔の絶えない楽しい時間となっています。幼稚園のみんなも「小学校って楽しい！」「お兄さん、お姉さんやさしい！」とうれしそうです。子ども同士の関わりのなかに、大きな気づきや学びがあります。あたたかい関わりを大切にしていきたいです。



## 体調管理にご留意を！！

大寒を過ぎ、寒さと暖かさが入り交じった天候が続いています。例年、この時期が一年で一番寒さが厳しい時期ともいわれます。来週は、いよいよ「有年っ子マラソンチャレンジ」です。児童の体調管理をお願いいたします。ご家族そして地域のみなさまも体調管理にご留意ください。

